

【オリコンサルが土砂災害警戒情報の効果実証 奥多摩町で情報伝達・避難行動を支援】



このため、同社は同町と気象予報会社のハレックスとの協働による社会実験として同システムを4月から導入。土砂災害ハザードマ

奥多摩町で情報伝達  
・ 避難行動を支援  
オリコンサルが土砂災害警戒情報の効果実証  
オリエンタルコンサルタンツは、土砂災害を想定した東京都奥多摩町と奥多摩町国民健康保険・奥多摩病院との情報伝達訓練と、同病院における垂直避難訓練を「土砂災害警戒情報システム」によって支援、その実効性について検証した。写真。  
同町内には、約900カ所の土砂災害警戒区域内に同病院のほか要配慮者利用施設が13カ所あり、改正土砂災害防止法によって義務付けられた避難確保計画の策定と避難訓練の実施が必要となっている。

ップに奇襲情報を重畳させ、6時間先の降雨予測と土壌雨量指数を提供し、「いつごろ、どの地区が、どの程度、土砂災害の危険性が高まるか」を見える化することで、住民の避難誘導に関する情報提供を支援している。  
今回の訓練では、14年に広島市に甚大な被害を及ぼした豪雨を想定。町役場と病院との情報伝達を実施した後、病院での車いすを用いた垂直避難を実施した。  
オリエンタルコンサルタンツでは、今回の訓練で得られた知見を踏まえて、要配慮者利用施設での避難確保計画の策定と避難訓練の実施に対する支援を展開する。さらにより効果的な避難情報の提供など防災行政の支援に取り組む考えだ。